

こんにちは！ 農業普及所です



第114号
 県中農林事務所須賀川農業普及所
 須賀川市花岡34
 TEL (0248)75-2180
 75-2181
 FAX (0248)72-8331
<http://www.pref.fukushima.jp/norin-kenchu-suk/>

平田村の矢吹正一・光子さん夫妻が 新嘗祭献穀献納式に臨みました

平成25年10月24日に新嘗祭献穀献納式(にいなめさい※)が皇居で行われ、平田村羽貫田地区の矢吹正一・光子さん夫妻が参内し、精米約1kgを宮中に献納いたしました。平成25年本県からの献穀者は、矢吹さん夫妻と昭和村の生産者2組が選ばれました。矢吹さん夫妻が栽培したお米は、羽貫田集落で取組んでいる特別栽培のひとつめぼれ「愛宕姫」です。

なお献穀米収穫に先立ち、9月29日に新米を刈り取る(ぬいほさい)抜穂祭が行われ、秋晴れの中、矢吹さん夫妻が献穀田から黄金色に実った稲穂を刈り取り、祭壇に捧げました。

(※新嘗祭とは、収穫祭にあたるもので、天皇陛下が新穀を神に供え、自らもこれを食する宮中祭祀のひとつ。)



写真 矢吹正一、光子さん夫妻
 上 抜穂のようす
 左 献納式後 皇居内で

「道の駅ひらた」一押しの新しいさつまいも 「ひらたシルク」が好評です！

平田村では、平成25年から新たに16名の生産者の方々が新品種のさつまいも「シルクスweet」（カネコ種苗株）の栽培に取組み、秋には「ひらたシルク」（写真）と命名して販売を開始しました。

このさつまいもは大変甘く、絹のようななめらかな食感が特徴で、現在「道の駅ひらた」で発売中です。まだ食べたことのない方はぜひ一度ご賞味ください。「道の駅ひらた」では、「ひらたシルク」を使った加工品の販売も企画中です。



「ひらたシルク」凹凸が少なく、
調理・加工しやすく形もgood!

新たな米政策の概要、現制度からの変更点について

米政策の見直しが進められています。現時点で検討されている見直し内容は以下のとおりであり、今後決定される内容を見極め、皆様の経営内容に役立つ取組を行ってください。

1 生産調整（減反）の見直しに係る概要（平成26年1月29日現在）

		平成25年度（現行） （2013年度）	平成26年度 （2014年度）	平成30年度 （2018年度）	
生産調整	生産数量 目標配分	国から配分	国から配分 （29年度まで継続）	配分廃止 需給情報提供	
米の直接支払 交付金	主食用米	15,000円/10a	7,500円/10a （29年度まで継続）	廃止	
米価変動補填 交付金	主食用米	標準的販売価格より低下 した場合に補填 （差額100%補填）	廃止 ただし、26年産米に限り非加入者 を対象に影響緩和対策を実施 （差額の約1/3補填）	廃止	
畑作物直接 支払交付金 （ゲタ対策）	根拠	経営所得安定対策実施要綱	経営所得安定対策実施要綱	法制化	
	対象者	販売農家 集落営農	販売農家 集落営農	認定農業者 認定就農者 集落営農	
	大豆・麦・なたね	2万円+数量払	2万円+数量払	農産物 収入保険を 検討	
	そば	2万円+数量払	1.3万円+数量払		
水田活用直接 支払交付金	戦略 作物	飼料用米 米粉用米	8万円/10a	標準8万円/10a （収量によって5.5～10.5万円）	26年度から 地域ごとに、水田 活用の取組方針等 を「水田フル活用 ビジョン」に記載 する
		大豆・麦	3.5万円/10a	3.5万円/10a	
		加工用米	2万円/10a	2万円/10a	
		そば	2万円/10a	廃止	
	産地交付金 （転作物）	（産地資金）	・そばは産地交付金で支援 （未検査品対象外） ・飼料用米、米粉用米では多収性 専用品種の導入、加工用米では複 数年契約でプラス1.2万円/10a		

（上表は、H25.11.29付、県水田畑作課作成資料より）

2 日本型直接支払制度（多面的機能支払）の創設

地域内の農業者が共同で取組む地域活動のコストに着目した新たな制度（多面的機能支払制度）が創設されます。既存の農地・水保全管理支払は組替え、名称変更（仮称：資源向上支払）のうえ、交付単価を調整し継続します。また、中山間等直接支払、環境保全型農業直接支払は現行どおり継続される見込みです。

あなたの経営状況をチェックしてみましょう 「新たな農業経営指標分析プログラム」について

農業においても経営の継続性のため、経営感覚や計数管理が重要視されています。農林水産省は、農業者自らが自分の経営状況を確認できる分析プログラムをインターネット上に公開しました (<https://shihyo.maff.go.jp/>)。

このプログラムは、インターネットに接続しているパソコンと「Microsoft Excel」、「経営改善計画書」、「青色申告決算書」、「作業日誌」があれば、その時点での経営改善の達成具合と目標達成への道筋が明らかになります。例えば下表の出力例からは、「生産単位当たり農業用固定資産額」が適正水準より大きく、過剰投資の可能性ありと判断できます。普及所も経営改善のお手伝いしますので、ぜひ活用してみてください。

プログラム出力例

項目	[計算式]	単位	現状 ^{※1}	望ましい水準	評価 ^{※2}
売上高借入金比率	(借入金)/(収入計)×100	%	15	0～100	○
単位面積当たり借入金	(借入金)/(農地面積)/100	千円/10a	25	0～130	○
生産単位当たり農業用固定資産額	(減価償却資産)/(農地面積)/100	千円/10a	163	0～130	△
自己資本比率	((資本)-(土地資産))/((資産計)-(土地資産))×100	%	83	30～100	○
売上高現預金比率	(現預金)/(収入計)×100	%	48	20～200	○

※1：参考計算数値

※2 { ○：望ましい水準の範囲内にある項目
△：望ましい水準の範囲外にあり、注意を要する項目
▲：経営と家計の区分がされていない可能性のある項目

平成25年産米の全袋検査・ 農産物モニタリング検査結果の概要について

(1)米全袋検査

管内の平成25年産米は既に前年より多い160万袋以上の米袋が検査されました。25Bq/kgを超えた米袋の割合は0.01%未満と前年に比べ大幅に減少し、50Bq/kgを超えた米袋もまだ確認されていません(1月14日現在)。

セシウム検出米袋の割合が低下した要因として、塩化カリ施用による吸収抑制対策の徹底等があげられます。最新の情報はホームページでご確認ください。(http://fukumegu.org/ok/kome/)

(2)緊急時環境放射線モニタリング(畑作物・野菜・果樹)の結果について

平成25年4月から実施した点数と結果は下表のとおりで、1月14日現在、すべて50Bq/kgを下回っています。

畑作物・野菜・果樹のモニタリング結果(平成26年1月14日現在)

作目	検査点数	結 果		
		検出せず	～50Bq/kg	50Bq/kg～
大豆	43	24	19	0
小豆	21	21	0	0
秋そば	90	41	49	0
野菜	388	377	11	0
果樹	300	218	82	0

新しい多獣種防護柵「獣堀くんライト」であなたの畑を守りましょう！

山梨県が開発した省力・低コストで設置可能な簡易の多獣種防護柵です。

- ①イノシシ、シカ、サル、タヌキ、ハクビシン等（ネズミは不可）からほ場を守ります。
- ②弾性ポール、電線および防鳥ネットを組合わせた構造をしています（写真）。
- ③100m設置する場合の資材費（電牧器除く）は約18,000円。2名作業で約6時間で設置可能です。
- ④設置可能上限面積の目安は15aです（柵の保守管理がおろそかになると効果が著しく低下するため）。



写真 獣堀くんライト
上 完成品
左 使用資材

詳しい作り方は山梨県HPに公開されています。興味のある方は「獣堀くんライト」で検索してご覧ください。
<http://www.pref.yamanashi.jp/sounou-gjt/documents/light20120711.pdf>

研修会を開催しました

第2回須賀川・石川地方女性農業者リーダー研修会 (平成25年11月13日 (株)ジェイラップ会議室)

最初に事例報告として、須賀川市の横田祐子氏から、8月にふくしま市場（東京都葛飾区葛西）で行われた風評払拭農産物PR活動に参加し、須賀川市産キュウリや農産加工品の販売PRを行った際のお客様の反応や、生産者として感じたことなどについてお話いただきました。次に(株)ジェイラップの三浦成子氏から自社の6次化の取組について、今までに作った6次化商品の紹介や商品開発の苦労などお話いただきました。女性農業者の方々は興味津津に聞き入り、商品開発のポイントや販売方法などについての質問や意見が活発に出されました。



活発な討論でした

青年農業者研修会

(平成25年11月28日、12月5日 須賀川農業普及所会議室)

青年農業者（青年農業士、須賀川4日クラブ等）を対象に、普及指導協力委員である三部会計事務所の菊地富二夫氏、(株)ヨークベニマルの脇坂雄二氏を講師に招き、「農業経営戦略」、「農産物流通・販売」をテーマに研修会を実施しました。

受講後、参加者からは「大変参考になった。今後も農業経営に関する研修会を開催してほしい。」等の感想をいただきました。



11/28 研修会の様子